### シャイン 077号

# 傾聴し寄り添うことが支援の第一歩

## 山下 治美さん

会社名:行政機関ハローワーク

役 職:職業相談員

資格等:産業カウンセラー



### 【受講のきっかけ】

2018 年 4 月から行政機関ハローワークの職業相談員として勤務しています。前職では、電話による「がん相談員」として勤務していました。がん患者の方と同じ立場に立って共感することの難しさを感じるとともに、ついアドバイスや助言をしてしまいがちになってしまいました。相談者の方からは「自分の話を聴いて欲しかっただけなのに」「アドバイスしてほしいわけではない」と指摘されてしまうこともありました。

私は、看護師としての勤務経験はありましたが 職業相談員としての経験がまったくないままに配 置されていたこともあり、外来勤務だったことも 相まって患者の方の話をゆっくりと丁寧に聴くこ とが難しい状況でした。「傾聴」することの大切 さは分かっていたものの、自分自身の多忙さやゆ とりのなさを、話が聴けない理由にしていたよう に思います。

2014 年 8 月、日々の業務に追われて自分が悩むことも忘れてしまうほど多忙になっていた頃、私は体調を崩して長期間の入院を余儀なくされました。看護師の方々は多忙で患者の話をじっくりと聴くような時間もなく、私の気持ちは思うように伝わりませんでした。私は患者の立場に立って初めて、「医療者に自分の気持ちが分かってもらえないというのは、これほどにも辛いのだ」と何度も感じていました。

退院後、ふと入院中の自分自身の体験を思い出し、支援対象者の方々も辛く苦しい思いを支援者に分かってもらえないと感じているのではないかと気付きました。そこで、「傾聴」から学びたいと思い、講座を受講するに至りました。

#### 【資格取得後の活動状況】

現在は、がんに罹患し治療を優先するために離職した求職者や、罹患したことにより現在の働き方では就労が難しくなった求職者を主に支援しています。支援対象者に寄り添いながら、その理解につながればと考え、「がん哲学外来市民学会認定コーディネーター」の資格を取得しました。

また、支援における治療と仕事の両立に関する 知見を深め、がん医療や社会保障制度についての 知識も身に付けたいと思い、「仕事と治療の両立 支援ネット・ブリッジ」の両立支援ナビゲーター オンライン養成講座を受講し、ナビゲーターとし て認定を受けました。

今後は、職業相談のスキル向上を目指して、キャリアコンサルタント養成講習の受講、2級キャリアコンサルティング技能士試験にもチャレンジしていきたいと思案中です。新たな一歩を踏み出すために今後も自己研鑽に努め、初心を忘れることなく支援者として活動していきたいと考えています。